

優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

まほろば

ふれあいネットワーク

社協広報

【特集】福祉関係団体からの活動報告

第14号



デイサービス合同誕生会にゲスト参加する 児童館の子どもたち

デイサービスセンターふれあいでは、利用者の合同誕生会を年3回実施している。
児童館の子どもたち・ボランティアの参加を得て、いつも楽しく催されている。

写真／ふれあいの館・ふれあい童夢から

特集

福祉関係団体からの活動報告

より大勢の方の入会を目標に ————— 山形村老人クラブ連合会

山形村老人クラブ連合会は、村内6地区の単位老人クラブが集まって、昭和37年に発足しました。会員は現在535名ですが、この会員数は、60才以上の村民の約30%で、加入率は県下では低い方です。今後より大勢の方の入会を目標にして次の事業に取り組んでいます。

- 健康づくり
- 社会参加や趣味のための生涯学習
- 会員の相互支援活動
- 一人暮らしの方とのふれあい行事
- ボランティア活動
- 花いっぱい運動
- 会報「高嶺」の発行（年3回）
- その他

（スポーツ大会・敬老会などへの参加、保育園児との交流、清水高原桜の手入れ、県連・郡連行事への参加等）



▲村の研修会・教室にも楽しく参加

障害者の社会参加をめざして ————— 山形村身体障害者福祉協会

昭和30年代に発足した身体障害者福祉協会も、約40年の歳月を経過して、社会的にも障害者に対する理解がだいぶ深まってきたように思います。

山形村の身障協会では、障害者の社会参加の場と機会をつくるため、1泊又は2泊の旅行、波田町・朝日村との交流会、東筑・南安合同運動会、県スポーツ大会等への参加をしています。

また福祉の向上のため、中信地区の福祉研究集会・県の福祉の集い等に参加し、意見交換や国・県への陳情事項等を決め、障害者のためになるよう努力をしています。

しかし現状では、まだまだ改善する事も多く、大勢の方に当協会へ加入していただき、障害者の生活の向上をめざしたいと思います。



▲年次計画を練る（身障協会定期総会から）

◇もくじ／社協広報第14号◇

[特集] 福祉関係団体からの活動報告	2～4
[感想] ボランティアを体験して／鉢盛中学校生徒より	5
[歳時記まほろば] ふれあいフォーラム21の開催/[ボランティアグループ紹介] パンクラブ・クロワッサンの会	6
[報告] 平成9年度共同募金実施結果／第8回健康と福祉のつどい・被表彰者の紹介他	7
[寄稿] リハビリボランティアに参加して／柴野美津子（上大池・淀の内連絡班）/[編集後記]	8

なご みたま慰めと遺族の厚生を軸に ————— 山形村遺族会

山形村にあって、過ぐる大戦の国家存亡の危機に、防人(さきもり)として召され、戦(いくさ)の庭に立って、若き尊い命を国に捧げた御霊(みたま)は、201柱にのぼります。本会員は、かけがえのない肉親を国家に捧げたという矜持(きょうじ)を胸に、お互いに助け合いつつ、肩を寄せ合って、ひたすら慰霊を軸に、地域のお世話になりながら、五十有余年を生き抜いてまいりました。

遺族会の主な事業は、

- 靖国神社の参拝
- 護国神社例大祭・命日祭・御霊祭・大祓祭・新穀感謝祭に参列
- 戦跡慰霊巡回・遺骨収拾に関係遺族の派遣
- 長野県戦没者追悼式に参列
- 村の戦没者慰霊祭に参列
- 護国神社境内・忠魂碑境内の清掃
- 会員相互の支援活動
- 国の遺族援護相談活動
- ボランティア活動
- 会員の親睦・慰安等の行事



▲靖国神社に参拝して

などがあげられます。遺族会員も世代がかわり、遺児も立派に成長され、壮年部を結成し、中心となって活動をしております。

共に生きる喜びがある ————— 山形村手をつなぐ親の会

山形村手をつなぐ親の会は、知的障害者の育成を目的に結成されている家族の会です。会の運営は、会員の会費と社協の補助金で賄っております。

本会の主な活動は、

- 県大会への参加
- 東筑ふれあいの集いへの参加
- 希望の旅の実施
- 関東甲信越ブロック研修会への参加
- 施設訪問の実施
- やまぶき会の実施

(山形村・朝日村の在宅者と今井学園、共立学舎へ入っている子どもが集まって交流やバス旅行を行う。)

などです。

地域社会にあってこうした活動を地域の人たちと、積極的に実施することにより、共に生きる喜びが生まれます。



▲モーターボートにも試乗(於木崎湖／希望の旅)

英霊^{けんしやう}の顕彰と会員相互の親睦を中心に ————— 山形村郷友会

山形村郷友会は、A会員（戦地に12年以上勤務し軍人恩給を受給している者）、B会員（A会員の配偶者）、C会員（A会員を亡くし扶助料を受給している者）から構成され、現在会員数は135名です。



▲「慰霊のこたば」を捧げる（村慰霊祭から）

主な活動は、

- 戦争犠牲者への援護と会員物故者の慰霊
- 英霊の顕彰の為忠魂碑境内の清掃及び護国神社の清掃
- 国家補償たる軍人恩給の適正化のため改善要求運動の推進
- 会員相互の親睦を図るため、研修会・スポーツ大会等の実施
- 地域社会への報恩奉仕と福祉事業参加
- 婦人部組織の活動強化

などです。

会員の平均年齢が80才を越えていますが、これからも諸活動に頑張っていきたいと思っております。

活動の輪を拡げ共に向上したい ————— 山形村ボランティア連絡協議会

山形村ボランティア連絡協議会は、村内のボランティアグループ・関係団体が集って、平成4年7月に結成されました。以来、うるおいある福祉の村づくりのため、各種福祉活動を通じ相互の連絡調整をはかり、ボランティア活動の輪を拡げるとともに、各種福祉事業に取り組みながら地域福祉向上につとめています。

本会の主な活動は、

○ボランティア活動の連絡調整・情報交換
（村の福祉行事、デイサービスセンター・児童館・特別養護老人ホーム等福祉施設、その他地域におけるボランティア活動の連絡調整・情報交換をする。）

○ボランティアの相互交流と学習活動

（東筑ボランティア交流会・県ボランティア研究集会等への参加、ボランティア研修会等の企画・実施をする。）

○ボランティア活動の啓発・普及

（山形村ボランティアセンターの事業へ協力、ボランティア活動の啓発・普及をする。）

などがあげられます。



▲東筑ボランティア交流会に参加して（於生坂村）

感想 ボランティアを体験して

ボランティアということに関心を抱いたのは、5年前の祖父の死がきっかけだった。私は、すぐに心を開くことができる方だが、今回ボランティアを体験して、1人で何人の方と話をするのは、大変であることがわかった。一度に10人位の方と話しができる「聖徳太子」みたいな人なのだろうと思ったくらい施設で働く人はスゴイ。私は、まだまだ未熟者なんだと思った。

3日間のボランティア体験を終わって、私は自分の不器用さに気づいた。けれどもそれ以上に、人に対する気持ちが、どれだけ大切なものかわかった。

これから私が、どんな道に進むかわからない。だけどやっぱり誰でも「やさしさ」という「光」が必要であり、無くしてはならない「灯火」なのだと思う。

鉢盛中学校3年生 林 由佳里



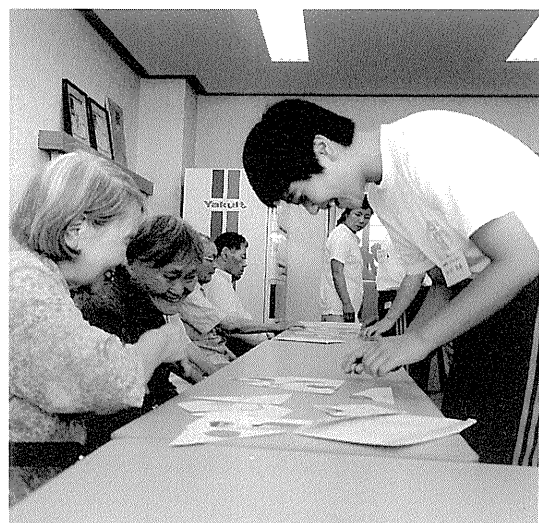
職場体験といっても、最初おばあちゃん達とどんな話をしているのか、またどのように接するのか、私にできるのかと、職員の人たちに教わって介護の用意をしながら、初体験にドキドキしていました。

おばあちゃん達が入ってきたとき緊張しましたが、手をつないで部屋に入ると「ありがとう」と声をかけてくれたので、ほっとして顔を見たら、とても嬉しそうに見えたので、私も嬉しくなり安心しました。それから、おじいちゃんおばあちゃん、昔、戦争の頃は、食べ物がなくて苦労したと話をしてくれました。午後になって、少し体を動かす運動をすることになり、みんなで「風船バレー」というリハビリのゲームをしました。「それっ！それっ！」と笑って、大きな声を出し合っていました。私も思わず本気になっていて、とても楽しかったです。お帰りになるときも、にこにこ「ありがとう」と何度も言って、満足そうに笑って行かれました。

介護体験を終えて思ったことは、やさしさと穏やかな気持ち、また気長さも必要なんだということがわかりました。そして、働いている職員の皆さん達が仕事を愛し、お年寄りの気持ちを理解して笑顔で接している姿に感動しました。少し疲れたけれど、私にとって、プラス面の多い良い体験のできた一日でした。

お世話になりました。

鉢盛中学校3年生 中村 真希



歳時記／まほろば

ボランティア体験学習講座 ふれあいフォーラム21の開催

紙芝居【初級】講座「懐かしくて新しい／紙芝居の楽しみ方」として、昨年10月17日から、全5回シリーズで行われた。講師にストーリーシアター道芸・主宰の塚原成幸先生を招き、声の出し方・演技・演出方法まで勉強し、紙芝居の奥深さに参加者は、やる気満々。自分で演じてみたい紙芝居を持ち帰り、しっかり練習するなど気合いが入った。

最終日には、3グループに分かれ保育園へ行き、子ども達の前で緊張しながらも発表した。



人がいて、絵を見ながらお話を聴き、ドラマの行方に胸をときめかせ、ゆったりとした雰囲気の中で、演者に出会い、機械的でなく、能率的でなく、みんなが同じ時間を過ごす。——— そんな味のある紙芝居がたまらなくおもしろい。

ボランティアグループ紹介

パンクラブ クロワッサンの会

◇小野 文子◇

- ☆V活動の開始 10年程前から実施
- ☆主な活動 デイサービス行事支援他

トレセン内に入ると、パンのとってもいい香りのする日があります。「今日はクロワッサンのパン作りだな」と、誰もが思う時がもう十数年も続いております。今は名古屋在住の和田先生のもと、8教室以上あるようになりました。全部の教室が顔を合わせることはありませんが、ボランティア活動だけは出られる人が出るため、他の教室の人と一緒にするのも楽しみのひとつです。

主なボランティア活動としては、ピアやまがた・ふれあいの館のデイサービス、ふれあい児童館、やまぶき会の皆さんとのパン作りです。

長年、全体のまとめ役をして下さった和田先生、本庄しま子さんのご苦勞には、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも教室やボランティア活動を続けて行くために、パン作りを通して、会員の輪が一層広がっていくことを願っています。



▲ふれあい児童館・ちびっこパン教室から

—— あたたかな善意、ありがとうございました。 ——

◇平成9年度赤い羽根・歳末たすけあい共同募金の実施結果◇

平成9年度の赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、昨年10月1日から年末にかけて実施したところ、次のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金した。この募金は、その一部が平成10年度において、配分金として村社協へ交付され、各種福祉事業に充てられることとなっている。

募金総額 1,905,213円 (但し、平成10年1月末日現在の実績)

(募金内訳／単位：円)

上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	職域他
248,000	173,900	387,000	144,000	425,000	483,500	43,813



◇社協への寄附金等の紹介◇ 【平成9年10月以降／敬称略】

- 山形村公民館社会部 金 50,000円 ○サラダ街道ショッピングセンター 金 20,000円
- 山形村商工会婦人部 金 16,500円 ○サラダ街道山形新鮮野菜市組合 金 10,000円
- J A松本ハイランド女性部山形支部 金 30,000円 ○村上世志子(下竹田) 金100,000円
- 岩下 勇(下大池) ヘルスマーター2台 ○上條法子(中大池) 靴下50足 [贈り物用]
- 日本禁煙友愛会山形支部 車椅子3台・移動用バー1台
- 理容組合松本支部 車椅子3台(村への寄付)

◇東筑社会福祉大会及び山形村健康と福祉のつどい／被表彰者の紹介◇

昨年10月27日、松本合同庁舎講堂において平成9年度の東筑社会福祉大会が開かれ、また、12月6日、村トレーニングセンターにおいて第8回の健康と福祉のつどいが催され、それぞれ東筑社協会長表彰・山形村社協会長表彰が行われた。表彰を受けられた方々は次のとおり。

■東筑社協会長表彰/老人介護善行者 [村内関係から]

上條利子さん(中大池) 上條安子さん(中大池) 塩原多美枝さん(下大池)
古畑菊子さん(下竹田) 百瀬典子さん(下竹田)

■村社協会長表彰/福祉活動功労者 [表彰状贈呈]

本庄國二さん(上大池) 宮沢 明さん(上竹田)
塩原弘保さん(上竹田) 神通川始さん(上竹田)
塩原道春さん(上竹田)

■村社協会長表彰/福祉事業協力者 [感謝状贈呈]

株式会社バイタル(豊科町) 日本禁煙友愛会山形支部
上條美知子さん(中大池) 堤 利雄さん(上大池)



▲第8回健康と福祉のつどい被表彰参列者

リハビリボランティアに参加して

柴野美津子（上大池／淀の内連絡班）



山形村に移り住んで3年が過ぎました。知りたがりやで、新し物好きのため村のあちこちへ出没(熊ではありません。念のため)迷惑をおかけしています。そんな私にも顔見知りができ、声をかけていただく機会も多くなりました。

現在続けているリハビリボランティアも、消費者の会でかたくりの会(独り暮らしのお年寄りにお弁当を作って配る活動をしている)を紹介されて、出て行った総会で「リハビリのボランティアがいるんだって。〇日ちょっと行ってみない?」「イヤー、子どもがいるし。」「大丈夫、子どもがいた方が和やかな感じよ。」「でも、やったことないし……。」「一緒に体操すればいいんだから、大丈夫。」「そうですね。」「じゃ頼むね。」という感じで始まりました。何人かに声をかけてみましたが、同じ常会の平岡さんと交替で手伝わせていただいています。

亡くなった義父が、晩年2ヶ月ほど寝たきりになり、老人や病人の介護について本を読んだり考えたりしたことはありました。しかし今回のボランティアは年齢層も幅があり、障害の残る方々がいらっしやるのことで一体何をどのようにお手伝いすればよいのかまったくわからず、大変不安でした。でも、ふれあいの館の職員や先生、そしてリハビリへ出てきていらっしやる皆さんが、特に何とすることもなく私たちを迎えてくれたことで、ボランティアって特別なことじゃないと思うようになりました。何かをしてあげているとか、してもらっているということではなく、時間があるから、その時間たまたま一緒に過ごしているということでしょうか。

このボランティアのおかげで息子にとっては、車椅子も体が不自由なお年寄りも日常生活にとけ込んでしまいました。リハビリに行くよと言うと「おじいちゃんやおばあちゃんとおやつを食べるの。」と準備を始めます。気が向いたら一緒に体操したり、道具を出すのを手伝ったりという感じですが、最初の頃に比べると随分成長したようでうれしく思っています。

ラビットサロン等でもふれあいの館に来ますが、子どもやお年寄りそしてそれに関わる人が利用できる施設なのに、何となくそれぞれにしきりがあるような感じを受けます。利用者がもっともっと気軽にふれあえるようになれば素晴らしいですね。そのためにも中間地点にいる私たちが、意識して積極的に関わるようにしていかなければならないのかもしれないかもしれません。未就園児をお持ちで、時間がある私のような方、もちろんそうでない方も社協を通じて是非、顔や手を出してみてください。そんなに難しく考えずに。

◇ 編集後記 ◇

■福祉関係の各団体も、恒例の諸行事・事業に新規企画を組み込むなど、より魅力ある福祉活動の展開をめざして、それぞれ事業の推進につとめている。近年、会員の減少・高齢化への対策、事業運営の財源確保等の施策に加え、団体結成当時とは社会環境も変化してきていることから、時代にふさわしい活動ができるよう、組織の再編成を試みている団体もあるようだ。■長く村の忠魂碑境内の清掃奉仕をつとめている郷友会は、会員の平均年齢が80歳を越えるというが、村の慰霊祭(4頁写真)に際して「忠魂碑境内の清掃だけは、会員が一人になっても頑張るつもりです」との覚悟を英霊に捧げられていた。■さまざまな課題を抱えるそれぞれの福祉団体を如何に支援して行くのか、いま、社会福祉協議会にその再検討がもとめられている。

編集人／社協-K.

まほろば

(社協広報／第14号) 平成10年2月28日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (ふれあいの館内)

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 ☎0263 (98) 3081 FAX0263 (98) 3016

●印刷所 日本ハイコム株式会社